

議会活性化特別委員会

◆議会の活性化に向けて、袋井市議会が取り組むべき具体的な課題やスケジュールなど、議会活性化特別委員会のスキームについて協議し、それに基づいた検討作業を開始した。

◇7月19日(第2回)

<協議事項>

1 議会活性化特別委員会の進め方(案)について

議員間討議の運用強化や通年議会の導入など、比較的短期間での協議で方向性を示すことができるものから優先的に取り組み、議会改革先進市議会への行政視察研修などを経て、議員定数の検討など、中長期的な協議になると見込まれる課題についても、順次取り組んでいくことにした。

用を強化するため、さまざまな意見や提言が出された。

2 袋井市議会傍聴規則等の改定について

開かれた議会を目指す議会の活動原則に基づき、現行の袋井市議会傍聴規則及び袋井市議会委員会傍聴規程を検証し、問題点はないか確認作業を行った。

3 本会議における手話通訳及び要約筆記の実施について(案)

実際の運用に向け、準備を進めていく中で、ろう者の中には、要約筆記を望む声もあることを聞き、それらも踏まえ、対応について委員間で協議を行った。

◇8月26日(第3回)

<協議事項>

1 議員間討議の運用について

議員間討議の運用については、議案を審査する場合と当局の行政報告に対して行う場合に分け、会議の進め方とその結果の取り扱いについて、それぞれ検討を行い、各委員からは、議員間討議の運

ごみ減量化特別委員会

◆袋井市内のごみ処理の歴史と現状について確認したうえで、ごみ処理施設を視察し、現状の把握をした。

◇8月5日(第2回)

<報告事項>

1 ごみ処理の歴史と現状

国内の廃棄物の排出傾向とそれに伴う法制定の歴史や、袋井市のごみ収集と処理施設の整備状況、条例や環境基本計画等の策定状況についての報告があった。

現状のままでは令和3年度で中遠クリーンセンターの処理限界量を超える見込みであり、施設の適正な稼働の維持や長寿命化に向け、さらなるごみの減量化を進めていくためには、これまでの取り組みに加え、ごみ処理業務全体の見直し、ごみの減量化が可能となる仕組みについての調査・研究に取り組んでいくことにした。

2 袋井市のごみ処理の状況

袋井市における可燃ごみ・不燃ごみの収集量とそれに伴う収集委託費用、ごみ処理施設への分担金や処分費用について、平成30年度の実績値で説明があり、可燃ごみの排出量は24,278トン、不燃ごみの排出量は2,304トン、収集・処分経費は可燃ごみ・不燃ごみを合わせて12億円余であるとの報告があった。

2 スケジュール

今年度中に方向性を見いだすことができるとよいが、議論の内容によって変更もあることを確認した。

<協議事項>

1 ごみ処理業務の見直しについて

◇8月27日(第3回)

<現地視察>

1 容器包装資源化センター(袋井市豊沢)

2 中遠クリーンセンター

ICT活用特別委員会

◆第2次袋井市ICT推進計画事業評価をもとに、これをさらに展開した形で「第3次袋井市ICT推進計画・官民データ活用推進計画」が本年3月に制定された。本委員会では、これまで進めてきた事業に加え、今年度予算化されている12の主要事業の概要を一通り、調査・確認した。

◇7月19日(第2回)

<協議事項>

1 ICT活用特別委員会のあり方

議会から特別委員会の進め方の提示、当局側から特別委員会の進め方の提案をたたき台として、委員による意見交換を行い、向こう2年間で3つのフェーズに区切り、第1フェーズは情報の共有、第2フェーズは調査・研究、第3フェーズは施策立案というスケジュールで今後取り組んでいくことにした。

◇8月1日(第3回)

<報告事項>

1 第3次袋井市ICT推進計画 令和元年度主要事業の概要

2 第2次袋井市ICT推進計画 事業評価表

25項目にわたり進捗状況について評価したものの報告があった。

2 第3次袋井市ICT推進計画 令和元年度主要事業の概要

令和元年度主要事業の12件について、1件ずつ課題、現状、取り組み(解決策)、効果・展開について説明があった。

◇8月28日(第4回)

<報告事項>

1 国(総務省)におけるICT施策の動向

8月1日に総務省より人事交流で本市に赴任された山本理事から、動画等を取り入れながら最近の具体的な事例報告があった。

2 第2次袋井市ICT推進計画 事業評価の整理